

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	浪速区
学校名	浪速小学校
学校長名	堀田 千秋

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・浪速小学校では、第6学年 75名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語については、平均正答率が大阪市より5点、全国より6.8点低い。

算数については、平均正答率が大阪市より6点、全国より6点低い。

理科については、平均正答率が大阪市より13点、全国より15.1点低い。

平均正答数を見てみると、国語（設問数14問）では大阪府より0.8問、全国より1問、算数（設問数16問）では大阪府より0.9問、全国より1問、理科（設問数17問）では大阪府より2.2問、全国より2.6問低い。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語]

国語は全国を100としたときに本校は90である。

領域では、「書くこと・読むこと」、問題形式では「記述式」に課題がある。

[算数]

算数は全国を100としたときに本校は90である。

領域では、「測定」、問題形式では「記述式」に課題がある。

[理科]

理科は全国を100としたときに本校は74と3教科の中で最も低い結果となった。

領域では、「『エネルギー』を柱とする領域」、問題形式では「記述式」に課題がある。

以上の結果より、学力向上支援チーム事業を活用した教員の指導力育成とともに、児童の放課後学習等を活用した学力向上にさらに努めていく必要がある。

質問調査より

「自分にはよいところがあると思いますか」については、肯定的な回答が全国並みの結果であったが、「当てはまる」の回答が少なく、「どちらかといえば当てはまる」が多いのが特徴である。今後、自己肯定感を高める取組を進めていく必要がある。

他の質問からも学校の先生に対する信頼感は全国と比較すると高い傾向がある。また、読書が好きな児童が多い反面、1日あたりの読書時間が10分より少ない児童が多くみられることが明らかとなつた。

今後の取組(アクションプラン)

学習面においては、基礎学力の定着を図るとともに、探究的な学びを進めていくことが必要であることがわかった。児童が興味関心を抱く課題を見つけて自ら学習に取り組むことができるよう今後も努めしていく必要がある。

学校としては朝の学習タイムにおいて、基礎学力の定着を図るために計算の練習問題を取り組んでいる。また、火曜日と金曜日に実施している読書タイムを継続し、月に1回の読み聞かせ会においても、いろいろな本と出会い、本の世界を楽しむことができるようこれからも地域と連携を図っていくことが重要である。

今後も地域・保護者と連携を図り、児童の健全育成、そして学力向上につながるよう取り組みを推進していく。

【 全体の概要 】

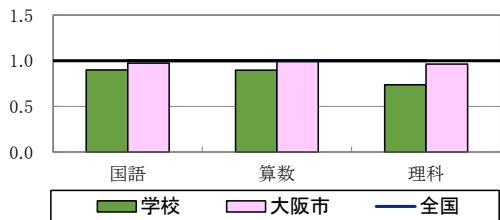
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	60	52	42
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

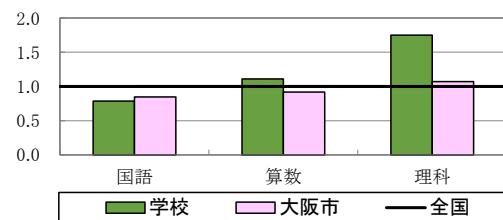
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	2.6	4.0	4.9
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



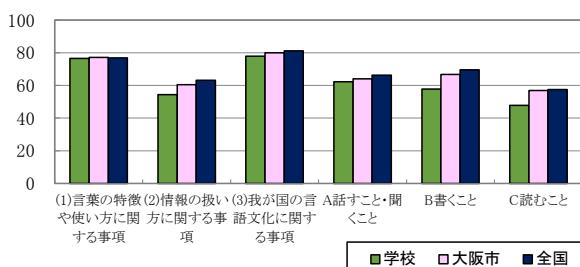
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	76.5	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	54.4	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	77.9	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	62.3	64.0	66.3
B 書くこと	3	57.8	66.7	69.5
C 読むこと	4	47.8	56.9	57.5

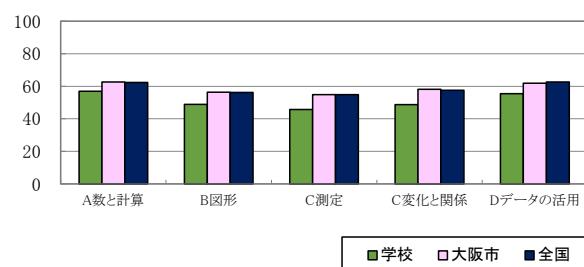
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	56.9	62.7	62.3
B 図形	4	48.9	56.4	56.2
C 測定	2	45.7	54.9	54.8
C 変化と関係	3	48.8	58.2	57.5
D データの活用	5	55.4	61.9	62.6

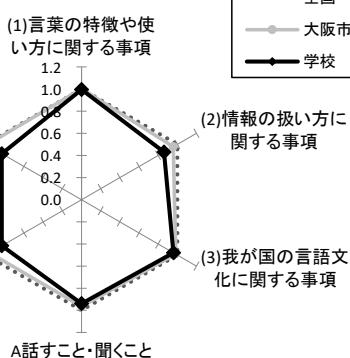
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



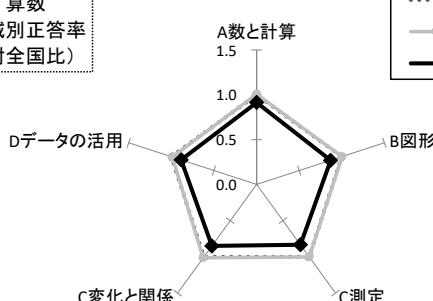
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

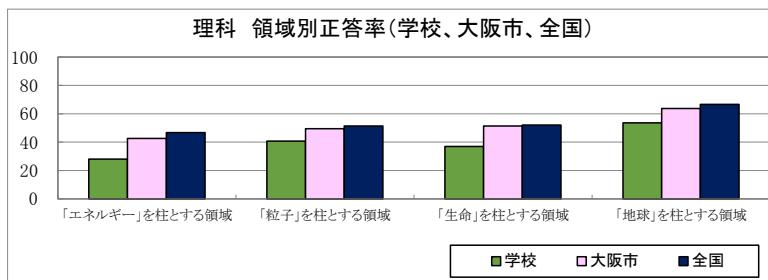


算数
領域別正答率
(対全国比)

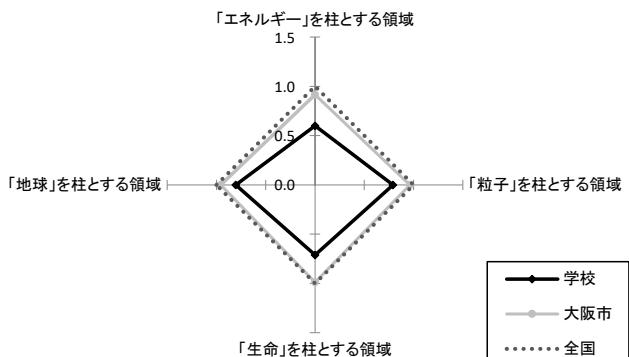


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	28.0	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	40.7	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	4	37.0	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	53.6	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



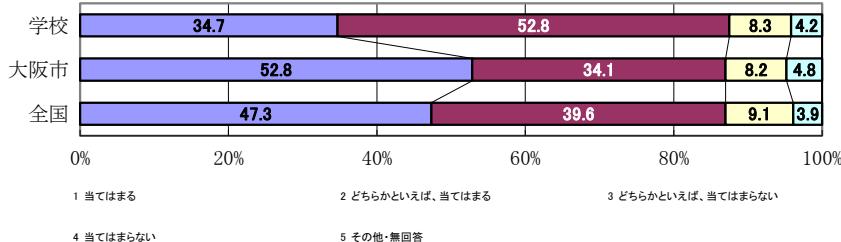
児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

5

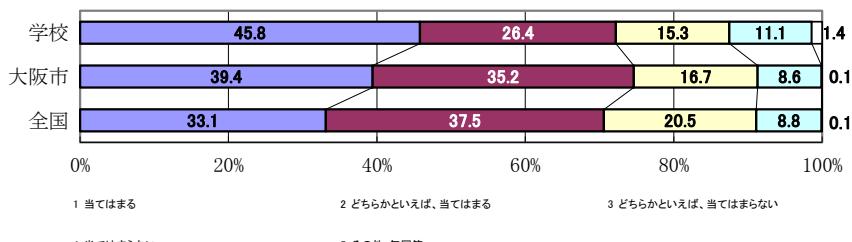
自分には、よいところがあると思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 その他・無回答

10

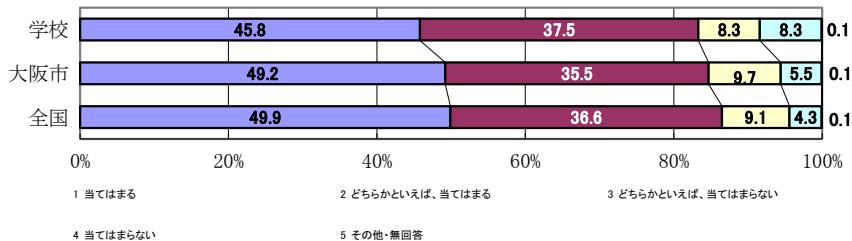
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 その他・無回答

12

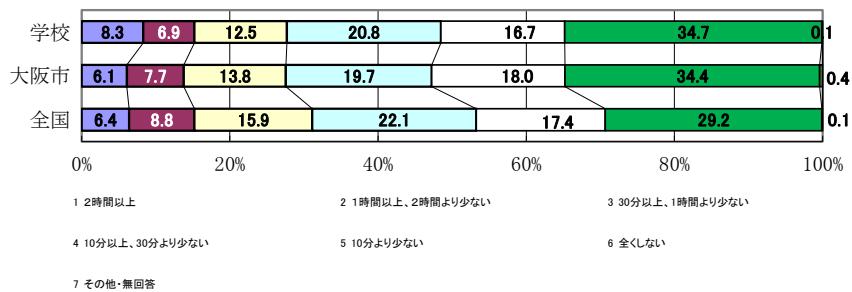
学校に行くのは楽しいと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 その他・無回答

21

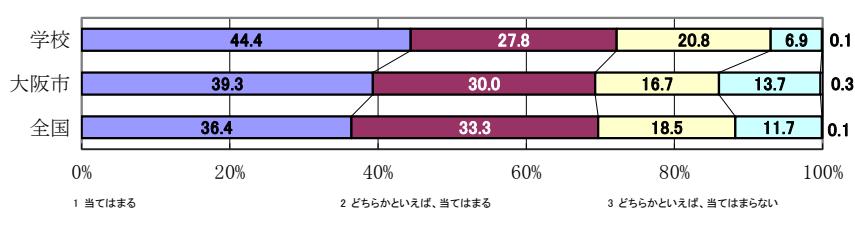
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



1 2時間以上
2 1時間以上、2時間より少ない
3 30分以上、1時間より少ない
4 10分以上、30分より少ない
5 10分より少ない
7 その他・無回答

24

読書は好きですか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 その他・無回答

学校質問より

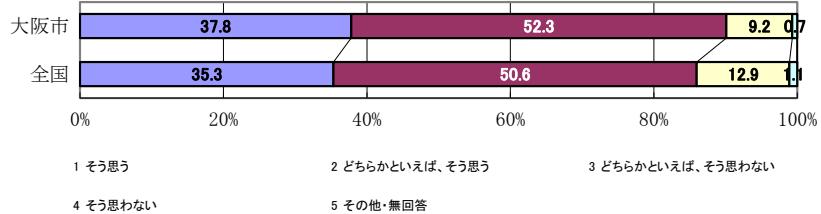
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

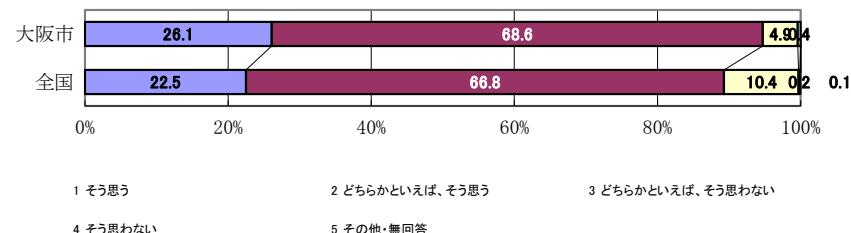
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

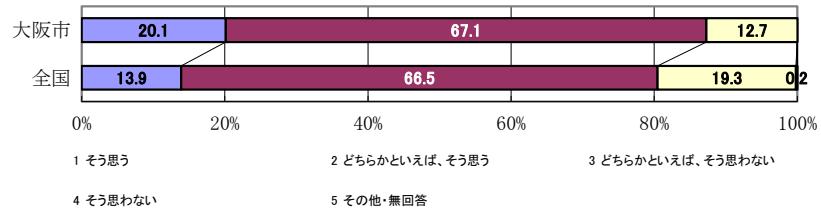
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



26

調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

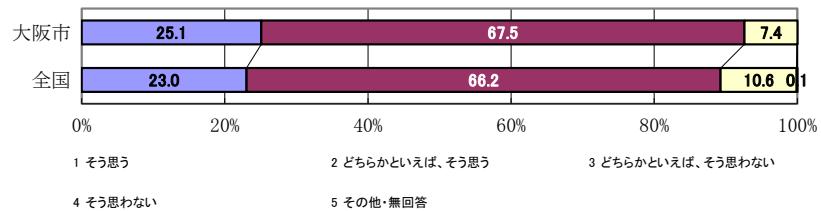
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組めていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択

